

(様式1)

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	積極的に散歩・買い物または自治会行事への参加の機会を作っています。	○ 自治会主催の「ふれあい喫茶」に参加している。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	定期的にフロア会議を開催し理念の共有に取り組んでいます。	○ 職員個々との面談を増やして理念の共有と実践について話し合う必要がある。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	毎月家族様に配布しております『ゆうとび庵通信』や運営推進会議等で理解、浸透に取り組んでいる。	○ 地域の方が訪問し易い雰囲気作りに努力したい。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の方が訪問し易いように玄関先に花壇等を作り雰囲気作りに努めている。	○ 施設で行うレクリエーション行事への参加の呼びかけを行いたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会が行う月1回の「ふれあい喫茶」に参加している。	○ 「ふれあい喫茶」だけではなくその他の行事への参加も試みたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	同地域の事業所との連携を密にし話し合う等の場を設けていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		評価を有効に活用出来る様、サービスの質の確保に活かしていきたい。
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	入居者様や家族様も含め幅広い方々に参加して頂ける様に努力したい。
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	研修・セミナーの参加頻度を増やしたい。
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	権利擁護に関するセミナー等への職員の積極的な参加を行いたい。
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		委員会等での話し合いや講習会への積極的な参加を行う。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいる項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に於いて契約書を基に十分な説明を行なっている。</p>	○	<p>年一回の家族会を開催しており、その場に於いても意見等を求め説明をし理解と納得を得る様に努力している。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関内に意見箱を設置している。</p>	○	<p>年一回の家族会を開催しており、その場に於いても意見等を求め運営に反映している。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>月一回、近況報告書として個々の家族宛に利用者様の暮らしぶりを報告している。突然の身体上の変化については速やかに電話等にて連絡している。</p>	○	<p>施設で行うレクリエーション行事への参加の呼びかけを行い暮らしぶりや様子を目にして頂きたい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置し幅広くご意見を頂いたり、日頃から家族様が話しをし良い雰囲気を作っております。</p>		<p>年一回の家族会を開催しており、その場に於いても意見等を求め運営に反映している。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的にフロア会議・マネージャー会議を開催しその場に於いて意見・提案を聞く場を設けている。</p>	○	<p>個々職員との個人面談の場を作り意見・提案を聞く場を増やす必要がある。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>定期的にフロア会議・マネージャー会議を開催しその場に於いて意見・提案を聞く場を設けている。</p>	○	<p>常に職員同士の連絡網を把握し緊急時の職員確保に努めている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の能力・経験に応じて職場の配置に配慮しています。</p>	○	<p>スキルアップを目指した勉強会等の実施を行いたい。</p>
5. 人材の育成と支援				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会への参加を段階的にしています。又、資格取得の為に補助もしている。</p>	○	<p>常勤者だけに限らず非常勤者へも研修会への参加が出来るようにしたい。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>情報交換や相互見学等は行っている為、今後はレベルアップを図って行きたい。</p>		<p>今後更なる取組みを行って行きたい。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>過酷な勤務状況にならない為の休日の確保に十分留意している。</p>		<p>特に新しい社員等には悩み事や相談を積極的に聞く様にしたい。</p>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>経験・能力・資格に応じて責任職へ配置している。</p>		<p>実力に応じて各研修の受講やフロア長、計画作成担当者等の責任ある役職を目指してが頑張れる体制を維持する。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居相談時からご本人との面談をし情報を聴きとっている。</p>	○	<p>面談回数を増やし利用までの変化の状態を把握する必要がある。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居相談時からご家族との面談をし情報を聴きとっている。</p>	○	<p>日時を問わず相談できる体制をつくる。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>様々な専門機関との連携を図っており対応できる様になっている。</p>	○	<p>相談できる専門機関件数を増やして行きたい。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者様が自宅等で愛用していた物があれば施設に持ち込んでもらい自宅と変わらない生活環境を作る工夫をしている。</p>	○	<p>初期の段階では自宅と施設を行き来しながら当庵の環境・雰囲気馴染んでもらう事で安心して頂ける様な支援を取り組みたい。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者様の思いに近づき共感し合える関係作りに取り組んでいる。</p>	○	<p>現状に満足する事なく貪欲に入居者様の気持ちを理解する努力が必要である。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族が訪問された際は、職員へ話しかけられる様な雰囲気作りをし必ず職員の方から挨拶を交わすようにしている。	○	利用者・家族・職員の三者間で共に実行出来るものを試みたい。
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者様の誕生日会は勿論、リクレーション会の参加への呼びかけをしている。	○	利用者様の日々の笑顔の写真や作品物等を家族様に見て頂きたい。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方が訪問された際は落ち着いた場所で談笑出来る場所を確保している。	○	馴染みの場所や思い出の場所への外出が出来ないので取組んでいきたい。
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	良好な関係を作っている利用者様同志は同じ食卓で食事をして頂いている。	○	今以上に利用者様同士で行える作業を増やして行きたい。
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	出会った時には挨拶を交わし利用者様や家族の近況を尋ねたりしている。	○	レクレーションの参加への呼びかけを行いたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者様本人と話し合いを持つている。困難な方については家族様から話しを聞くようにしている。</p>	<p>○</p> <p>一時帰宅の要望があり家族様との相談・協力を得て一時帰宅していただいた。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>家族からの情報と過去のサービス表やサマリーを活用し把握している。</p>	<p>○</p> <p>家財道具・衣類を持ち込んで頂いている。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>介護記録書・バイタル表・食事報告書等を用いて把握している。</p>	<p>○</p> <p>フロア会議に於いても利用者様一人一人の状況の共有をしています。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>定期的なフロア会議の場に於いて話し合い作成している。</p>	<p>○</p> <p>フロア会議の場に於いて医療関係者が出席出来るようにしたい。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的なフロア会議の場に於いて話し合い作成している。</p>	<p>○</p> <p>本人・家族の意見が薄い事もある為、今後見直したい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録書・バイタル表・食事報告書等を用いて把握している。	○	口頭での申し送りやノートも活用しながら職員同士の情報共有に努めている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	他医療機関への通院や介護用品等の一時使用等。		状況に応じて馴染みの職員が対応出来る様に申し送りやフロア会議等で確認、共有をしている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的に利用者様も参加した消防訓練やボランティアによる音楽演奏会を行なっている。	○	ボランティアを活用し外出等の機会を増やしたい。
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の希望や好みを表現できるよう支援している。	○	決める力を意図的に引き出せるよう取組んで行きたい。
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	その人らしい生活が出来る様に出来るだけ自分のペースで過ごして頂いています。	○	日々の暮らしがその人らしいものになるよう支援していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	関係医療機関と既に提携している。	○	かかりつけ医は週三回の訪問診察があります。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	精神科・診療内科の専門医とも医療機関と提携している。		2週間に1回の往診と必要都度の受診を行っております。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	最低週1回の訪問看護にて支援を行っております。		更に連携を密にして行きたいと思います。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	関係医療機関と既に提携している。	○	利用者が入院した場合でも馴染みの職員が見舞いをして入院による不安を取り除くよう努力している。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族等には契約時に施設側の考え方を説明し又、家族等からも意向等を聞いている。	○	本人の意思が確認できていないので確認できるよう努力したい。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かかりつけ医とは綿密に連絡を取れる体制をしている。	○	職員の重度化・終末期に対する知識等のレベルを勉強会などで上げて行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>診療情報・サマリ等を提供しており出来るだけ混乱が生じないように心がけている。</p>	○	<p>直接関係者間同士での会議を開催したい。</p>
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>				
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>				
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>言葉掛けや対応についてはフロア会議の場に於いて十分留意するように話あっている。</p>	○	<p>記録や個人情報書については収納庫に保管し第三者が簡単に見られないようにしている。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>落ち着いて話が出る環境・雰囲気作りをし相手の話に傾聴するようにしている。</p>	○	<p>ケアプラン会議にも本人が出席できるようにしたい。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>買い物等の外出希望があれば出来る限り要望に添っている。</p>	○	<p>日々の暮らしがその人らしいものになる様、今後も支援したい。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>実施する前に本人の意向を伺っています。</p>	○	<p>化粧品等の購入希望があれば本人と同行し購入している。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>可能な方には簡単な調理や後片付けをお願いしています。</p>	○	<p>定期的に献立の意向を聞いて利用者と職員が食事を作る食事レクリエーション会を実施している。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>医師・家族と相談しながら利用者様の状態に合わせて出来る限り支援しており、可能な方とは喫茶店にも出かけている。</p>	○	<p>アルコール・タバコの提供は差し控えているので今後、医師・家族とも相談をして可能であれば提供したい。</p>
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>トイレ介助表等を用いて排泄パターンの把握に努め自尊心を傷つけないよう声掛けをし随時トイレ誘導するよう心掛けしている。</p>	○	<p>トイレの場所が分かりやすいように表示等を工夫している。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>利用者様の意思や体調を優先して入浴日や時間を調整している。</p>	○	<p>施設風呂だけではなく銭湯へも行けるような体制を作りたい。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>テレビ・ラジオを視聴しながら就寝したい方に関してはそのままの状況で休息して貰っています。</p>	○	<p>導眠剤の使用は出来る限り使用しないようにしたい。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>職員と共同作業をし完了した時は御礼を述べています。</p>	○	<p>地域で開かれているサークル活動へも積極的に参加を試みたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物へ同行する場合はレジでの支払いはご本人がされるようにしている。	○	紛失・利用者間での金銭トラブルがある為に常時金品の所持を差し控えているが常時所持できるように工夫していきたい。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	体調や気候に合わせて出来る限り買い物・散歩に出かけている。	○	自動車での遠出を希望されるが運転手の確保等が困難な時があり十分に行えていないので出来るように考えたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	自動車での遠出を希望されるが運転手の確保等が困難な時もありますが十分に行えていないので出来るように考えたい。	○	利用者様の思い出の地等へ外出したい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族へ電話をしたいとの希望があれば時間等を考慮し取り次ぐ様にしている。		今後も家族様とのつながりを持つ意味においても声かけを行い、今後も要望があれば対応を行っていく。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	落ち着いて談笑できる場所を確保している。又、事前連絡があれば特に面会時間の制限は設けていない。	○	訪問者へはお茶・お茶菓子を用意して長く居られる様にしている。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	様々な資料を用いてフロア会議等の場において勉強・検討している。	○	外部の勉強会・研修会にも全職員が出席出来る様にしたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は状況によりますが、極力鍵をかけない様努めております。</p>	<p>夜間等は防犯等から施錠を行っております。</p>
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>常に日中は職員間で利用者様の所在・行動に意識を持つようにしている。</p>	<p>○</p> <p>居室で過ごされている場合は随時、様子確認を行っています。</p>
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>利用者様の状態に合わせて対応しています。</p>	<p>○</p> <p>どこに危険があるかを十分に職員同士で話し合う必要がある。</p>
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>毎月職員全員に「ひやりはっと」の提出を行い対応策を話し合っている。 緊急対応マニュアルを作成している。</p>	<p>各自職員が危機意識を持ち、ひとり一人のリスクを把握して取組んでいけるように危機管理委員会やフロア会議等で具体的に検討、確認をしていく。</p>
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>様々な資料などを用いて会議等の場に於いて勉強・検討している。</p>	<p>○</p> <p>救急対応時のマニュアル表を見やすい場所に掲示してある。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>法令順守より避難訓練を半年に1回は必ず実施し、非常時に備え対応マニュアルを作成しています。</p>	<p>○</p> <p>定期的に消防署の立会いで消火非難訓練をしている。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている</p>	<p>医師も含めてご家族様にはその都度説明している。</p>	○	<p>家族様とより緊密に連絡をとり些細なことでも相談説明したい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>体調変化表・連絡ノート等を活用して情報の共有に努めている。緊急を要する場合は直ちにかかりつけ医に連絡している。</p>	○	<p>定時にバイタル測定を行い、体調の変化に留意している。</p>
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬剤の説明書は全て保管し職員が直に確認出来るところにある。</p>	○	<p>薬剤師からも薬の副作用等を聞くことにしている。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>様々な資料などを用いて会議等の場に於いて勉強・検討している。</p>	○	<p>希望があれば牛乳を購入して飲んでいただいている。腹部マッサージも適時行なっている。</p>
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>食後は必ず緑茶による嗽をしていただいて口腔ケアをしている。義歯使用している方は就寝時は必ず洗浄剤で一晩消毒している。</p>	○	<p>定期的に歯科医の往診にてデンタルケアをしている。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事・水分摂取表を活用して把握している。調理形態にも工夫している。</p>	○	<p>普段あまり飲まれない様な炭酸飲料水を時には購入して飲んでいただいている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアル作成して徹底している。	○	感染症予防に関する講習会への参加を行なっている。
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒に関する資料等を配布したり掲示しており使用した調理品は消毒・洗浄をしている。残った食材については破棄し新鮮な食材を使用している。	○	週に一回は食器のハイター消毒をし冷蔵庫の清掃もしている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	日中は玄関門を開放しており鉢植えを置いたり絵画や装飾品で明るい雰囲気作りに配慮している。	○	近隣の方や訪問者の意見を多く取り入れたい。
81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとの花や絵画・記念写真で環境作りに配慮している。	○	所々に廊下の床に染み等があるので目立たないようにしたい。
82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テラススペースにはソファを置き誰でもが利用できるようにしている。	○	本人のペースにあわす様に職員は配慮している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	思い出の家具や写真・品物を持ち込んでいただいている。	○	居室で過ごせるようにテレビ・ラジオを置いていただいている。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	定期的に窓を開けての換気や加湿器・空気清浄機などを設置し空気の乾燥を防止している。		温度調節は各居室ごとに行い、居室でのおむつ交換についてはにおいが残らないよう、せっけんや芳香剤を使用している。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーの対応をしており廊下には手摺りも取り付けている。		職員ひとり一人が危機意識を持ち、転倒リスクの高い方への見守りを強化する等、「ひやりはっ」とに記録し対応策について話し合いを行っている。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	大きな字体で居室の場所・トイレの案内を明示している。	○	物品などには出来るだけ名前を記入している。
87	建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	居室階のバルコニーには鉢植えを置き鑑賞出来るようにしている。水差しも職員と一緒にして頂いている。	○	建物の外周を定期的に利用者様と職員が掃除する活動をしている。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

2ヶ月に1度開催している運営推進会議や月に1度の「ふれあい喫茶」への参加等と地域の皆様とは良い関係は築けつつあります。また昨年にはAED設置を行い近隣の皆様にも必要時に使用して頂ければと考え、大阪府が推進する「AEDマップ」にも協力施設として登録致しました。その後、より地域の皆様に親しみとご利用をして頂こうと「こども110番」の登録も行いました。近隣の方による、ハーモニカボランティアの受入れや今後はマジックボランティアの受入れや小学校の学校開放「遊ぼうDAY！」等にも積極的に参加出来ればと考えております。